

事業評価票（複数年度契約の活用を図る事業）

1	庁内警備委託（総務局総務部）	検討対象契約 （種目）	警備・受付等	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 都庁第一本庁舎・第二本庁舎・議会棟について、庁内警備を実施している。 			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 庁内警備については、昨今のテロ頻発化など国際情勢の変化を背景に、平成27年10月より、警備員による入退庁チェック等の警備強化を実施している。 今後、機械式セキュリティゲートの設置や防犯カメラの増設等により、更なる警備強化を図り、オリンピック・パラリンピックにも備えた新たな警備体制を構築する必要がある。 			
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎内におけるセキュリティゲートの設置、VIPへの対応など、複雑な運用が想定されるため、複数年度契約を活用し、より質の高い警備員の確保や教育訓練効果が発揮できるよう条件を整備する。その際、年度ごとに業務内容が変動することから、長期継続契約の要件に該当せず、債務負担行為を活用する。 警戒レベルの変化にも柔軟に対応した庁内警備を実現するため、総合評価方式を導入する。 質の高い警備員の確保等に必要な準備期間を考慮し、年度途中での発注を予定している。 			
	対応手法		29年度見積額	
	債務負担行為	長期継続契約	その他	28年度予算額
			814,391 千円	
			793,970 千円	
計画評価 （契約制度関係）	<ul style="list-style-type: none"> 複数年契約とし安定的な人員配置及びノウハウの蓄積が図られることで、質の高い履行が期待できることから、計画は妥当である。発注時期をずらすことで事業者の準備期間を確保するとともに、事務の平準化につなげる点も評価できる。 従事者の資格・経験や研修体制等を評価して契約することにより、業務の品質の確保・向上が期待でき、施設の安全性の向上及びきめ細かな来庁者対応を通じて、サービスの向上に資することから総合評価方式の採用は妥当である。 			
	計画の評価			
	妥当			見直し
			見送り	
			その他	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 複数年度契約による安定的な業務の履行と、総合評価方式による業務品質の確保・向上が期待できる。 加えて、複数年度契約による経費削減効果も見込まれることから、本方式の採用は妥当であるため、見積額のとおり計上する。 			
	妥当			見直し
				見送り
			その他	
			29年度予算額	
			814,391 千円	
2	都庁舎建物清掃委託（第一本庁舎・第二本庁舎）（財務局建築保全部）	検討対象契約 （種目）	建物清掃	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 都庁第一本庁舎21階から32階における建物清掃委託及び都庁第二本庁舎18階から34階における建物清掃委託を実施している。 			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 都庁舎では、現在エリアを複数に区分し、単年度契約で競争入札により建物清掃委託を実施している。 都庁舎では現在、大規模改修工事が実施されているため、委託内容が毎年異なる状況となっているが、質の高い行政サービスの維持が課題となっている。 			
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 受託者のノウハウ蓄積による質の向上を図りつつ、安定的かつ確実な履行確保に努めていくため、複数年度契約とする。なお、改修により年度ごとの清掃範囲が異なるため、長期継続契約の要件に該当せず、債務負担行為を活用する。 質の高い清掃業務の履行を確保するため、総合評価方式による入札を実施する。 			
	対応手法		29年度見積額	
	債務負担行為	長期継続契約	その他	28年度予算額
			133,129 千円	
			137,276 千円	
計画評価 （契約制度関係）	<ul style="list-style-type: none"> 本業務は、多くの職員・都民が利用する大規模施設の清掃であり、複数年度契約とし安定的な履行体制を確保することで、衛生的環境の確保・向上に寄与することから、計画は妥当である。 従事者の資格・経験や研修計画等を評価して契約することにより、清掃の品質向上及び来庁者へのサービス向上が期待できることから、総合評価方式の採用は妥当である。 			
	計画の評価			
	妥当			見直し
			見送り	
			その他	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 複数年度契約による安定的な履行体制の確保と、総合評価方式による業務品質の確保・向上が期待できる。 加えて、複数年度契約による経費削減効果も見込まれることから、本方式の採用は妥当であるため、見積額のとおり計上する。 			
	妥当			見直し
				見送り
			その他	
			29年度予算額	
			133,129 千円	